

科目ナンバリング		U-LAS02 10010 LJ36							
授業科目名 <英訳>		日本近代文学II Japanese Modern Literature II				担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 須田 千里	
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)		芸術・文学・言語(基礎)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義 (対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・後期		曜時限	金3/金4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
この講義では、川端康成の代表作『山の音』(昭和29年)を取り上げ、作品世界をていねいに読解し、作品の素材、語句の注釈、用いられた技巧、作品内容、構造、主題を明らかにする。 『山の音』の巧緻な語りと暗喩、性的な要素を分析する。その際、作品の背景や素材に注意しながら、冒頭から末尾まで丁寧に読むことを通して作品を解釈する。 受講生は教室にパソコンを持参し、Zoomの画面共有を通じて資料や教員の授業ノート(板書に代わるもの)を見るときともに、教科書を読む。教員の授業ノートは、授業後にLMSの授業資料に置くので、受講生は復習に利用する。									
[到達目標]									
作品世界をていねいに読解することで、成立過程、語句注釈、用いられた技巧、構造、主題などを理解し、作品の構造や主題を自分の言葉で語るができるようになる。これが目標である。									
[授業計画と内容]									
1, ガイダンス。川端康成の経歴と文学。『山の音』 15頁までの読解 2, 『山の音』 45頁までの読解 3, 『山の音』 75頁までの読解 4, 『山の音』 105頁までの読解 5, 『山の音』 135頁までの読解 6, 『山の音』 165頁までの読解 7, 『山の音』 195頁までの読解 8, 『山の音』 225頁までの読解 9, 『山の音』 255頁までの読解 10, 『山の音』 285頁までの読解 11, 『山の音』 315頁までの読解 12, 『山の音』 345頁までの読解 13, 『山の音』 375頁までの読解 14, 『山の音』 末尾までの読解と補足説明 《まとめのテスト》 15, フィードバック なお、読解の重要性によって進度が前後することがある。									
[履修要件]									
特になし									
[成績評価の方法・観点]									
まとめのテスト(持込不可)100%で授業内容の理解度を問う。									
-----日本近代文学II(2)へ続く↓↓↓-----									

日本近代文学II(2)

[教科書]

川端康成『山の音』（新潮文庫）ISBN:978-4-10-100242-2
LMSにより資料を配布する。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

作品を事前に読んでおくことは当然。
主体的に取り組み、授業中の問いかけに積極的に応じること。
作品を読んで考えたことや意見、質問を積極的に示して欲しい。

[その他（オフィスアワー等）]

教室の規模のため、受講者数を制限する。

[主要授業科目（学部・学科名）]